

地球温暖化対策実行計画委員会
審議結果報告書

姫路市環境審議会

会長 中瀬 勲 様

地球温暖化対策実行計画委員会審議結果報告書

平成29年（2017年）11月17日

委員長	山村	充
委員	家永	善文
委員	浦上	文男
委員	大野	幸一
委員	小河	晶子
委員	竹中	一成
委員	通山	由美
委員	中澤	卓生
委員	中瀬	勲
委員	横内	恵
委員	吉田	裕康

平成29年5月19日付で姫路市環境審議会から地球温暖化対策実行計画委員会に付託された姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について、審議結果を報告します。

1 付託事項

姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定

2 審議経過

平成29年5月19日 地球温暖化対策実行計画委員会の設置、
付託事項の審議

平成29年8月29日 付託事項の審議

3 主な審議内容

（意見1）再生可能エネルギーの導入において太陽光発電設備の導入を促進する必要性は理解できるが、景観を悪化するなどの問題が顕在化しているため、兵庫県条例に基づき地域環境に配慮した導入について記載すべきである。

（対応1）23・24ページに記載した。

（意見2）事業者や市民が省エネ設備等を導入するには費用がかかる。導入する際に利用できる助成制度を紹介してほしい。また、ZEHやHEMSなど一般の方には馴染みのない言葉も多く見られるので、用語説明を付けてほしい。

（対応2）助成制度の一覧及び用語説明を掲載した資料編を作成する。

（意見3）緑化の推進にあたっては、生垣助成や壁面緑化も重要な取組であるため、記載してほしい。

（対応3）27ページに記載した。

（意見4）市の削減目標値△26.1%について、産業部門の割合が多い本市において、国の部門別削減目標値を当てはめた場合、国の削減目標値26.0%に達しないと思うが、どのようにして設定したのか。

（対応4）本市の削減目標値は、国が示している対策・施策による削減見込量等を踏まえて設定したが、産業部門（※）について国は△10.6%としているが、本市では△11.2%とした。家庭部門の太陽光発電の導入等について全国と比較して日照量の多い特性を生かして国の削減目標値に上乗せする等により設定した。

（※）エネルギー転換部門を含む

（意見5）食品ロス「30・10運動」、クールシェアなどの取組については普及に向けて取り組んでいただきたい。

（対応5）20ページに記載した。

4 計画の概要

別紙「姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の全体像」のとおり

姫路市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の全体像(計画期間:平成30~42年度)

●国内外の動向

国際的な動向

■COP21の開催・パリ協定の採択

- ・COP21で、2020年以降の温室効果ガス削減等に関する新たな枠組みであり、全ての国が参加する「パリ協定」が採択(2015年11~12月)

国の計画

■地球温暖化対策計画の策定

- ・国の「地球温暖化対策計画」において、「2030年度に2013年度比で26.0%削減」とする国の新たな温室効果ガス削減目標と、目標達成のための施策が決定(2016年5月)

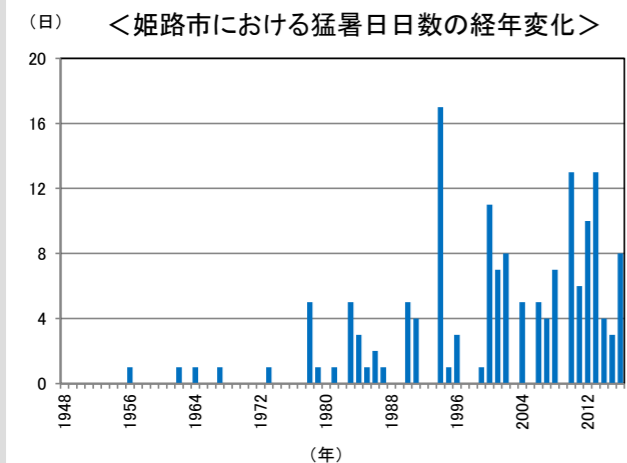
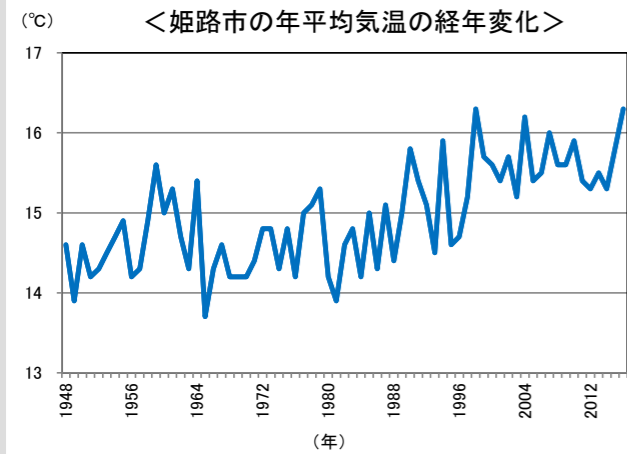
県の計画

■兵庫県地球温暖化対策推進計画の策定

- ・「兵庫県地球温暖化対策推進計画」において、「2030年度に2013年度比で26.5%削減」とする新たな削減目標が決定(2017年3月)

●気候変動の現状

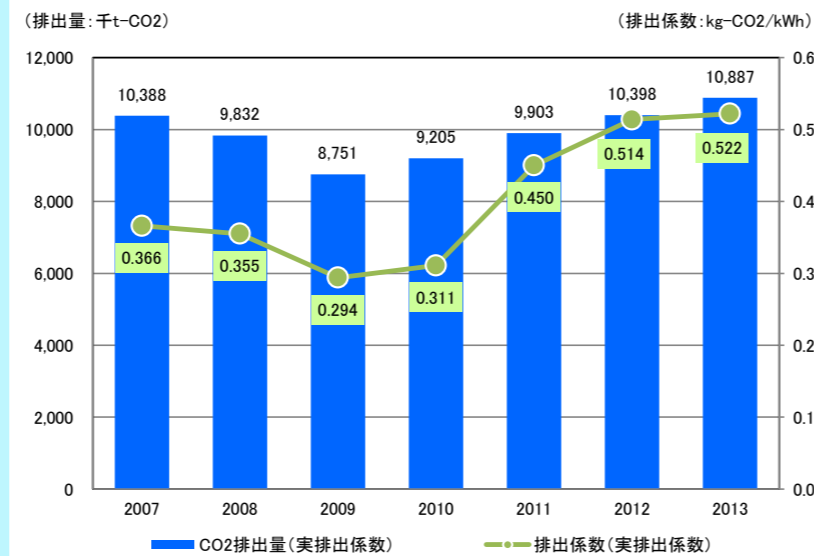
- ・年ごとに変動はあるものの、長期的には平均気温は上昇
- ・年間の猛暑日や熱帯夜の日数は増加傾向



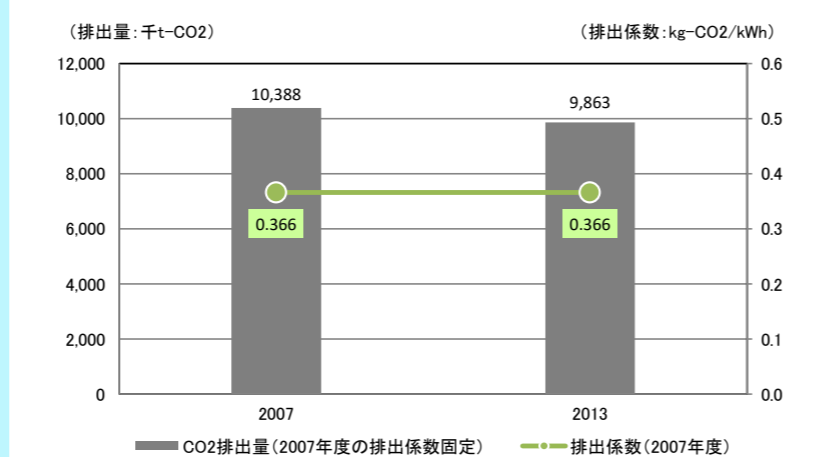
●姫路市の温室効果ガス排出量の現状

- ・本市の温室効果ガス排出量は、2013年度には10,887千t-CO2であり、2007年度と比較して4.8%の増加
- ・2007年度以降、排出量は減少傾向を示していたが、原子力発電所の停止に伴う電力排出係数の上昇により、2011年度以降は増加傾向
- ・電力排出係数の影響を除くと、2013年度には2007年度比で5.1%減となることから、一定程度市民や事業者の取組が進んでいる
- ・産業部門の占める割合は、市全体の温室効果ガス排出量の約6割

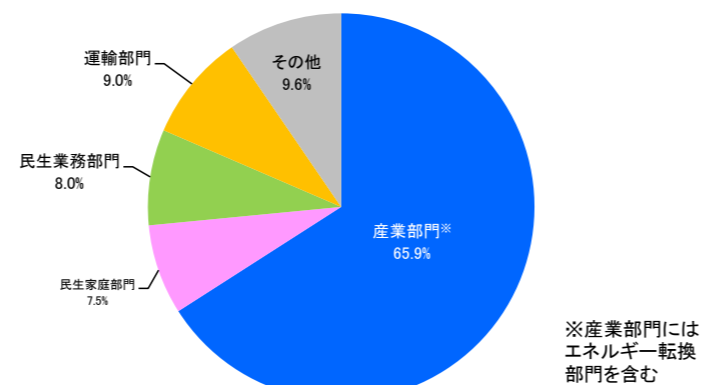
＜温室効果ガス排出量の推移～電力の排出係数変動＞



＜温室効果ガス排出量の推移～電力の排出係数固定(推計値)＞



＜温室効果ガス排出量の部門別の内訳(2013年度)＞



●姫路市の温室効果ガス削減目標

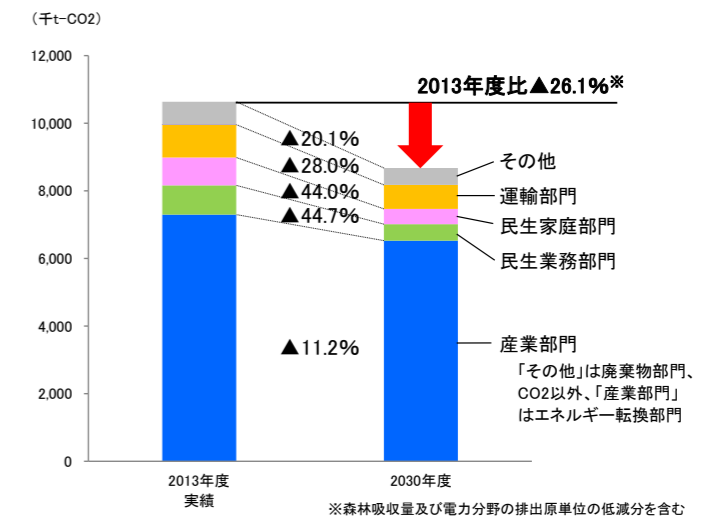
＜計画の基本的事項＞

- 計画期間:2018年度~2030年度
- 基準年度:2013年度
- 目標年度:2030年度

＜温室効果ガス削減目標＞

本市は、2013年度を基準年度とした2030年度の温室効果ガス削減目標を設定

2030年度に2013年度比で26.1%の削減を目指す



●地球温暖化対策の方向性

地球温暖化対策を創意工夫をもって取り組むことで、温室効果ガスの排出抑制のみならず、生活の質の向上・健康福祉・地域環境の改善・地域経済への波及等、コベネフィット(共通便益)による魅力あふれる区域の実現を目指す

●基本施策と施策概要

基本施策1	基本施策2	基本施策3
エネルギーの無駄を無くす エコライフ・エコオフィスの推進	環境に配慮したエネルギーの 導入促進	低炭素型のまちづくりの推進
施策概要	施策概要	施策概要
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動・事業活動における省エネに向けた取組 ● 環境学習・環境イベント等を通じた環境配慮に向けた取組 ● 事業所における環境配慮の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 暮らしにおける再生可能エネルギーの導入促進 ● 事業における再生可能エネルギーの導入促進 ● 新たなエネルギーの導入に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 低炭素型の交通網の整備 ● 緑地の保全と緑化の推進 ● 循環型社会の構築
主な取組例	主な取組例	主な取組例
<ul style="list-style-type: none"> ○ 省エネ診断等によるエネルギー管理の推進 ○ 省エネ設備等の導入促進 ○ ライトダウンキャンペーン、環境フェスティバル等による省エネ意識の喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの普及促進 ○ 地域環境に配慮した太陽光発電の導入促進 ○ 下水熱や水素の利用に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通機関の利用促進 ○ 電気自動車、低公害車の普及促進 ○ 緑のカーテン講習会による緑化事業の推進 ○ ごみの減量化、分別回収の徹底等の取組

●重点プロジェクト

- ＜重点プロジェクト1＞ 運輸部門における環境配慮の推進
- ＜重点プロジェクト2＞ 環境に配慮した都心部の再整備
- ＜重点プロジェクト3＞ 再生可能エネルギー等の導入拡大

